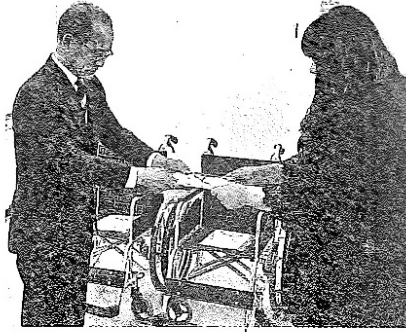


各企業等の社会至員献

車いす寄贈 11年で35台

認知症高齢者施設で活用

宮坂建設工業が札幌市北区内



有川副社長（左）が澤田代表に目録を手渡した

地域の社会福祉向上に役立ててほしいと、宮坂建設工業(株)（帯広、宮坂寿文社長）は二十五日、同社札幌支社が事務所を構える札幌市北区の社会福祉協議会に車いす三台を寄贈した。北区役所別棟で行われた

有川副社長が「日ごろ北区の皆様にお世話になってい

贈呈式には、有川進執行役員副社長、佐々木勝幸常務執行役員、三谷義和業務部長が出席。

北区役所別棟で行われた車いす三台を寄贈した。北区役所別棟で行われた

同社の車いす寄付は二十年から毎年継続し十一回

会の澤田理絵子代表に目録を手渡した。同社には北区社会福祉協議会から感謝状が贈られた。寄贈した車いすは、認知症高齢者の福祉を支援している区内のグループホームに贈られ活用される。澤田代表は「区内には約四十カ所のグループホームがあるが、毎日使う車いすは傷みも出るので、寄贈は大変ありがたい」と感謝していた。



北区社会福祉協に車いす3台寄贈
宮坂建設工業札幌支社
宮坂建設工業札幌支社

延べ35台となる。北区役所で開かれた贈呈式には同社から有川進副社長、佐々木勝幸常務、協議会の石山克徳常務理

（札幌市北区）

は25日、札幌市北区社会福祉協議会に車いす3台を寄贈した。写真。2008年から毎年贈っており、今回で

事、札幌市北区グループホーム管理者連絡会の沢田理絵子代表が参加。車いすは同協議会を通じて区内の福祉施設に割り当てられる。有川副社長は「今後も社会福祉の向上に少しでも役立てるよう活動していきたい」とあいさつし、目録を贈呈。沢田代表は謝辞を述べ、現在車いすを使っているグループホーム利用者からのお礼の手紙を代読。「車いすは傷みが早く不足気味なので大変ありがたい」と感謝した。